

BTC NEWS

BTCニュース

2025年(4) No.141



BTC 騎乗訓練は研修生と併走

馬術部
経験者
大歓迎

距離2馬身で
駆歩進めー!!

いいよ! その調子!

BTC 教官 募集中

乗馬未経験の研修生たちに
馬装の仕方から指導

1年後の卒業を見届けます

自身の技術向上のため
馬術大会にも
出場できます

頑張ったね!

CONTENTS

- | | |
|---|--|
| ① 馬にみられる病気..... 1
馬インフルエンザ | ⑤ やさしい育成技術 12
BTC講演会～続ける力・あきらめない心～ |
| ② 競馬の箱馬車①..... 4
特別展「京都競馬場100周年記念展」 | ⑥ 海外最新情報 15
イギリスとアイルランドの育成について(その②) |
| ③ 競馬の箱馬車②..... 7
「クッシー・プランニング
～喜びをもたらす外国人支援の新たな一歩～」 | ⑦ 研修生のページ 18
BTC研修OB・OG浦河会の新人歓迎会が開催される! |
| ④ 科学の箱馬車 8
競走馬に対する再生医療 | あとがき 20 |

物産アニマルヘルス

動物用医薬品

馬の便秘症における
消化管運動機能低下の改善に
優れた効果を発揮!

馬用消化管運動機能改善剤
指定医薬品 使用基準

プロナミド®E散1%

(モサブリドクエン酸塩水和物)



※詳細は添付文書をご参照ください。

製造販売元

物産アニマルヘルス株式会社

大阪市中央区本町2-5-7

<https://www.bussan-ah.com>

[2023年6月]

PRONAMID® E Powder 1%

FUJIFILM
Value from Innovation

馬用サプリメント
Pure Salacia
ピュア サラシア



サイエンスに裏付けられた腸内環境サポートサプリ

特 長

- 1 天然植物サラシアに含まれるサラシノールが、
馬の腸内の乳酸菌比率を増加させる ※1
- 2 エネルギーの吸収に適した腸内環境に整える ※1 ※2

※1 2016年 日本ウマ科学会にて発表

※2 Jumpertz R et al., Am J Clin Nutr. 94(1):58-65. (2011)

給 餌 方 法

成 馬	仔 馬
(500kg換算): 8~16 g/日 (かさ目安30~60 mL/日)	(100kg毎): 1.6~3.2 g/日 (かさ目安6~12 mL/日)

- 食餌回数に分けて飼料に混合して与えてください。
- 状態に応じて適宜、給餌量を調整してください。
- 水に溶かしてシリンジで直接与えることも可能です。

■ 名 称 馬用サプリメント ピュア サラシア

■ 内 容 量 480 g、240 g

【注意事項】 馬以外に使用しないでください。

※ 本製品は(財)競走馬理化学研究所の薬物検査にて
問題ないことを確認しています。

□ 本製品についてのお問い合わせは

株式会社 富士フイルムヘルスケア ラボラトリー サプリメントグループ マテリアル事業チーム
〒164-0012 東京都中野区本町2-46-1 中野坂上サンブライトツインビル14階
TEL:03-6300-6419

詳しい情報は
こちら▶



馬インフルエンザ

日本中央競馬会競走馬総合研究所

国際獣疫事務局（WOAH）馬インフルエンザ リファレンスラボラトリー

根本 学

はじめに

馬インフルエンザは、馬インフルエンザウイルスによって引き起こされるウイルス感染症です。日本ではこれまでに3回発生しています。このウイルスは非常に強い伝播力を持ち、感染が馬群内で急速に拡大するという特徴があります。感染した馬は、ヒトのインフルエンザと同様に、発熱、鼻水、咳といった呼吸器症状を示します。

馬インフルエンザウイルスの分類

インフルエンザウイルスには、A、B、C、D型がありますが、馬インフルエンザウイルスはA型インフルエンザウイルスです。A型インフルエンザウイルスはヒトやトリ、ブタ、ウシなど非常に多くの種類の動物に感染します。ウイルス外側には2種類の突起、スパイクタンパクである、ヘマグルチニン（HA）と、ノイラミニダーゼ（NA）があります。A型インフルエンザウイルスである馬インフルエンザウイルスを、このHAとNAで分類すると、H3N8亜型のウイルスが世界中の馬群で流行しています。昔はH7N7亜型も流行していたのですが、1980年頃からH7N7のウイルスは検出されなくなり、現在は無くなったと考えられています。

症状

典型的な症状として、急な発熱を伴う鼻水や咳などの呼吸器症状が挙げられます。感染してから発症までの期間は2～3日であり、発症から5日程度生きたウイルスを排出します。馬インフルエンザの最も顕著な特徴は、このような症状を示す馬が急速に増加することです。発熱や呼吸器症状を

示す馬が急増した場合は馬インフルエンザが疑われるため、速やかに獣医師や家畜保健衛生所へ報告してください。発熱が4日以上続く場合や、粘ちょう性の鼻水が見られる場合は、二次的な細菌感染が疑われます。

国内外の発生状況

馬インフルエンザウイルスは、アイスランドやニュージーランドなどごく一部の例外を除き、日本を含む世界各国で発生しています。北米や欧州では定期的に発生しており、毎年多くの報告があります。

日本においては、これまでに1971年、2007年、そして2025年の3回の発生報告があります。日本で初めての馬インフルエンザが発生したのは、1971年12月でした。感染は急速に拡大し、1971年12月から翌1972年1月にかけて、9都府県で発生が報告されました。この流行は競馬開催にも大きな影響を与え、流行拡大により12月下旬から計9週間、関東の競馬開催が中止されました。一方、関西地区では流行が拡大しなかったため、競馬開催が継続されました。

2007年8月、JRAのトレーニング・センターで通常よりも多くの発熱馬が確認され、鼻水や咳といった呼吸器症状を示す馬が多数いました。そこで抗原検査キットによる検査を行ったところ、陽性が確認されました。JRA施設内での新規発熱馬は急増し、発生確認から4日目にピークに達し、その後急速に減少しました。馬インフルエンザの拡大に伴う発熱馬の急増を受け、8月18日と19日の2日間、中央競馬は開催中止となりました。中央競馬だけでなく、7主催者、延べ25日間の地方競馬も開催中止となりました。また秋田国体の馬術大会でも発生し、途中で競技が中止となりました。2007年の流行では、33都道府県で発生が確認され、1971年と比較して、馬の輸送頻度の増加が感染の全国的な拡大につながったと推察されました。

2025年には、熊本県と北海道十勝地方での発生が確認されました。4月8日に熊本県の重種馬群で発生が確認され、その後4月25日に北海道十勝地方で発生が確認されました。なお熊本県での最終発生は4月16日、北海道十勝地方での最終発生は5月8日でした。ばんえい帯広競馬場でも発生が確認され、典型的な馬インフルエンザの症状を示す馬が多数発生し、この影響でばんえい競馬開催が3週間中止となりました。熊本と北海道十勝地方のウイルスについて遺伝子解析が行われた結果、北米で流行しているウイルスと非常に類似していることと、熊本県と北海道の流行ウイルスは由来が同じであることが明らかとなりました。また血清学的解析の結果、現在のワクチンが今回のウイルスに対して有効であることも明らかになっています。

診断法

馬インフルエンザの診断法として、現場では、簡便で迅速な診断が可能な抗原検査キットが用いられています（図1）。Yamanakaら（2016）とKawanishiら（2025）は、クイックチェイサー Flu A,B（ミズホメディー）、イムノエース Flu（タウンズ）、ファインビジョン Influenza（アボット）、ラピッドテスト FLU・NEXT（積水メディカル）が馬インフルエンザ診断に有用な抗原検査キットであると報告しています（2025年7月現在）。他に、遺伝子診断法である RT-PCR 法による診断が検査施設で行われ、抗原検査キットよりも診断能力が高いことから確定診断に用いられています。



図1. クイックチェイサー Flu A,B による診断。矢印で示す判定部に線を認めた場合、陽性と診断する。

診断のためには、適切な部位から検体を採取することが重要です。発熱時にウイルスを多く出していますので、初診時に採材を行うのが良いでしょう。馬インフルエンザウイルスは鼻や喉で増殖するため、鼻腔スワブ（鼻の粘膜を採取）や鼻咽頭スワブ（鼻の奥にある咽頭部粘膜を採取）が診断に用いられます（図2）。鼻咽頭スワブ採取用の綿棒は特殊なため、この綿棒を常に保有している診療所や検査機関は

少なく、また採取の手軽さから日常の検査では鼻腔スワブを用いることが多いと思われます。しかし、鼻咽頭スワブは鼻腔スワブよりも多くのウイルスを採取できるため、国際間輸送時の動物検疫など、高い精度が求められる場合に用いられます。スワブは培地やリン酸緩衝生理食塩水（PBS）などに浸け、その後の検査に用います。



図2. 鼻腔（①）と鼻咽頭スワブ（②）採取用綿棒

ワクチン

日本で馬インフルエンザワクチンとして使用されているのは不活化ワクチンです。不活化ワクチンは、感染性の無いウイルスを材料として使用しており、ワクチン接種後に体内でウイルスが増殖しないため安全性が高いというメリットがあります。しかしデメリットとして、体内で増殖しないため抗体が上昇しにくく、また抗体の持続期間が短いことが挙げられます。このため、効果を得るためには不活化ワクチンを複数回、また定期的に接種する必要があります。

推奨されるワクチン接種スケジュールを表1に示します。基礎免疫として、1歳の1月から3月に、4週間程度の間隔を空けて2回接種します。そして補強接種として、基礎免疫2回目の接種からおおよそ3ヵ月後、1歳の5月から6月に3回目の接種を行います。その後は半年ごとに補強接種として、5月から6月頃と11月頃の年2回、ワクチン接種を行うことが推奨されています。

表1. 軽種馬防疫協議会が推奨するワクチンプログラム

1歳			2歳以降	
1-3月	5-6月	11月頃	5-6月	11月頃
①	②	③	⑤	⑥
基礎免疫			補強接種	

ワクチンのなかった1971年と、全頭がワクチン接種されていた2007年の症状を示した馬の累積割合を比較したデータ

を比較すると、ワクチン接種により症状を示した馬が激減していました(図3)。またワクチン接種により症状が軽くなり、1971年は治癒までに平均5日かかったのに対し、2007年は平均1.6日で治癒していました。このデータからワクチンの効果をご理解できるかと思います。

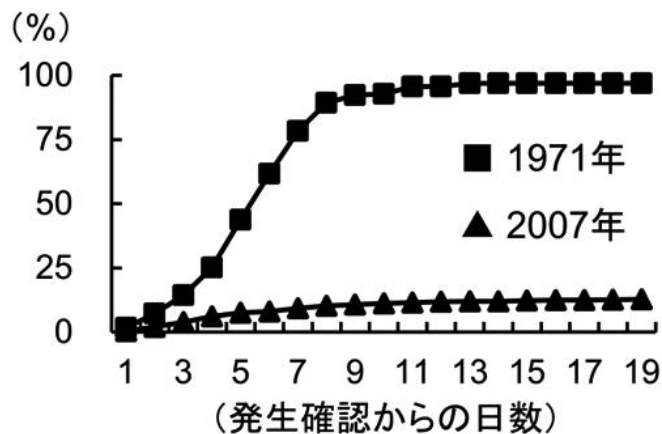


図3. 1971年(中山競馬場、東京競馬場、馬事公苑)と2007年(両トレーニング・センター、札幌競馬場、函館競馬場、小倉競馬場)流行時に症状を示した馬の累積割合

治療

馬インフルエンザの治療法は、補液などで症状を和らげることを目的とした対症療法になります。特にワクチン接種馬の場合、症状が軽いことがほとんどであり、対症療法を行うことにより数日で回復します。馬インフルエンザウイルス感染後に細菌の二次感染が疑われる場合は、抗生剤が投与されます。

防疫対策

馬インフルエンザ等の感染症が確認された際には、主に以下の防疫対策が行われます。

1. 馬の移動制限

馬インフルエンザ発生等施設において、馬の出入りを行わないことです。感染した馬の移動による感染拡大を防ぐ上で、移動制限は非常に効果的です。

2. 感染が疑われる馬の隔離

発生施設内で健康な馬と感染馬を隔離することで、流行

拡大を抑制することが目的です。しかし、馬インフルエンザの流行拡大スピードが速いため、気づいた時には既に多くの馬が感染していることが多く、同じ施設内での効果的な隔離は現実的に難しいことが多いと思われます。

3. 消毒

感染馬による感染拡大だけでなく、人や物にウイルスが付着し、物理的に感染を拡大させてしまうことがあります。そのため、馬房、馬具、車両などの消毒を行う必要があります。さまざまな消毒薬が市販されていますが、畜産分野で一般的に用いられている逆性せっけん系、塩素系、ヨウ素系消毒薬や、70%エタノールは馬インフルエンザウイルスに有効です。使用の際は、各製品に記載されている推奨希釈倍率で使用するようにしてください。

4. 人によるウイルスの媒介防止

「3. 消毒」でも触れましたが、物理的に感染を拡大させないために、馬インフルエンザ発生施設で馬に触れた人が、馬のいる他の施設を訪れないことも重要です。

最後に

馬インフルエンザは、その強い伝播力から、ひとたび発生すれば広範囲に影響を及ぼす可能性のある重要な感染症です。しかし、適切な予防対策と迅速な対応によって、その影響をできる限り抑えることが可能です。特にワクチンは発症の抑制と症状の軽減に効果的であり、定期的なワクチン接種が馬インフルエンザの重要な対策となります。万が一、馬インフルエンザの発生が疑われる場合には、速やかに獣医師や家畜保健衛生所へ報告してください。予防と対応を徹底することが、馬たちの健康を守り、馬産業の安定に貢献するものと考えます。

参考文献

- ・Yamanaka et al., Influenza Other Respir Viruses. 2016. 10: 127-33.
- ・Kawanishi et al., Equine Vet J. 2025. doi: 10.1111/evj.14500.

特別展 「京都競馬場 100 周年記念展」

公益財団法人馬事文化財団 競馬博物館部

伊丹 徳行

本年は、1925年（大正14）12月に京都競馬場が現在の場所に開場してから100年という節目にあたります。これを記念して、JRA競馬博物館では特別展「京都競馬場100周年記念展」を10月4日（土）から開催いたします。東京競馬場にご来場の折には、ぜひご来館ください。

京都競馬場前史

日清・日露戦争においてわが国の軍馬の改良の必要性を痛感した政府は、1905年（明治38）に「馬匹改良計画」を策定し、馬匹改良の財源を馬券の売得金から徴収するとともに馬匹の能力検査や優れた繁殖馬の選定の場として競馬を利用するため、認可された競馬法人に限って馬券発売を黙許することとしました。これを受けて、東京競馬会が1906年（明治39）11月に池上競馬場で競馬を開催すると盛況を博し、これをきっかけに全国各地で競馬法人設立の動きが見られるようになり、馬政局は閣令に定められた要件に基づいて16の法人を厳選して競馬開催を認可しました。

そして、京都競馬会が1907年（明治40）3月に設立され、

新設の島原競馬場で翌年5月に第1回競馬（4日間）が開催されました。競馬場は1周1哩（約1,600m）、幅17間（約31m）の右回り馬場で、木造の馬見所（スタンド）がありました。また、島原遊郭に隣接しており、初開催の時は競馬場入口そして遊郭の大門および裏門には緑門（常緑樹の葉で包まれたアーチ状の門）が建てられ、紅白の布で装飾された花柱に沿って進むと競馬場に入場できるようになっていました。4日間の総入場人員は20,378人、総売上は724,700円（当時の公務員初任給50円を基に換算すると約41億円 ※2025年公務員総合職初任給284,800円）でした。

競馬ブームは全国に広がり、各競馬場での競馬開催は大盛況を見せました。しかし、レースで八百長が発生したり払戻しに不手際があって観客が暴動を起こすなどの問題が頻発したことから新聞を中心に競馬批判の声が高まり、1908年（明治41）10月の刑法施行に合わせて政府は馬券発売を禁止とする旨を各競馬法人に通達しました。しかし、馬券発売を禁止しても馬匹改良計画継続のため競馬を存続させる必要があった政府は、各競馬法人に補助金を出すこととしましたが、馬券による売得金と比べると微々たるものでした。こうした状況の中で、京都競馬会は1910年（明治43）6月に京都競馬倶楽部と改称しました。

1912年（大正元）11月1日の夜に島原競馬場のスタンドから出火があり、競馬場の大部分が焼失しました。競馬場の土地の借地契約が年末に満了を迎えることや土地の買収先が決まっていたことなどから、須知町（現在の京丹波町）に競馬場を移設することとなり、工事が未完成の状態で1913年（大正2）9月に新たな競馬場で競馬が開催されました。

京都競馬場の開場

京都の中心部から遠く離れた須知に競馬場を移転することになった理由には馬券発売禁止に伴う倶楽部の財政難が



京都競馬会馬券（1907年）馬の博物館所蔵

あり、馬券発売復活の見込みが薄かった当時の情勢もありました。しかし、競馬関係者の尽力により1923年（大正12）に競馬法が制定されて馬券発売を伴う競馬開催が復活すると京都中心部への競馬場移転が計画され、1925年（大正14）に京都競馬倶楽部は京阪電鉄と10万坪余の電鉄所有地の借地契約を締結して競馬場新設に着工しました。なお、競馬法制定後の1923年（大正12）秋季開催は9月1日に発生した関東大震災により関東在住の競馬倶楽部役員に死傷者が出たことから開催休止となり、翌年は競馬場移転のため競馬開催休止、1925年（大正14）春季開催については新競馬場工事中のため鳴尾競馬場（阪神競馬倶楽部）を借用して実施されました。

新設の競馬場は1925年（大正14）12月1日に竣工し、初の競馬開催が同月5・6・12・13日の4日間で行われました。競馬場が作られたのは巨椋池（おぐらいけ）を中心とした低湿地帯であり、水はけが悪く馬場状態が悪化しやすかったため、馬場の下に引いた畳のうえに土を被せてレースをしたこともありました。1935年（昭和10）の馬場拡張工事の際、第3コーナーに斜坂走路（「淀の坂」）が作られましたが、これは豊臣秀吉が治水のためにつくった堤防の名残の高さに合わせて土を盛ったことで坂ができたと考えられています。



京都競馬倶楽部馬券（1925年秋季） 馬の博物館所蔵

総面積97,479坪（約32万㎡）にわたる競馬場の敷地が全て借地であったため、京都競馬倶楽部は官有地を除く約88,000坪の買収に着手し、1928年（昭和3）4月5日までに総額85万円余円（約32.6億円）で買収が完了しました。その際に50万円（約19億円）を借り入れたものの、競馬の売上が順調に推移したため2年余りで完済しています。

1928年（昭和3）10月には昭和天皇の即位礼を記念した「御大礼記念競馬」を開催し（目黒競馬場でも開催）、翌年の秋季開催は354万円余りの売上を記録し日本一となりました。1933年（昭和8）4月には火災により馬見所等の建物の大半を焼失し、復旧した建物も翌年9月の室戸台風で屋根が吹き飛ばされるという災厄に相次いで見舞われましたが、1開催の入場人員が10万人を超えるなど盛況ぶりが衰えることはありませんでした。そのため、京都競馬倶楽部は馬見所の全面改築を決定し、1938年（昭和13）に工事が竣工しました。なお、京都競馬倶楽部は前年の1937年（昭和12）5月に解散し、日本競馬会に統合されています。

その後、1938年（昭和13）に京都農林省賞典四歳呼馬競走（現在の菊花賞）が創設され、阪神競馬場（鳴尾）の接收に伴って1944年（昭和19）春からは皇室御賞典競走（現在の天皇賞）が開催されるようになりました。戦後は1948年（昭和23）からの国営競馬を経て、1954年（昭和29）から日本中央競馬会京都競馬場となって現在に至ります。



京都競馬場グランドオープン（2023年）

そして、2020年（令和2）11月から約2年半にわたって開催を休止し、開設100周年記念事業の一環としてスタンド改築、馬場改修、厩舎改築など施設全体の整備を行い、2023年（令和5）4月22日にグランドオープンしました。新たな競馬場の愛称は「センテニアル・パーク京都競馬場」となり（「センテニアル」は「100年の、100周年の」という意味の英語）、次の100年に向けて歩み始めることとなりました。



EBMの理念

動物の医療を取り巻く環境は近年めざましい勢いで進歩しており、世界中で新しい医療技術や医療機器、医薬品および飼料の開発が行われています。

EBMトレーディングジャパン株式会社は先端医療のスペシャリストとして獣医療、特に馬に関する最新の医療製品や多様なサービスをお届けする体制の確立に努めるとともに、品質、安全、法令順守を最優先に考え、動物の医療現場のソリューションプロバイダーとして、皆様のお役に立てる企業を目指すことをお約束いたします。



Boehringer
Ingelheim ベーリンガー・インゲルハイム
アニマルヘルス ジャパン株式会社



ガストロガード®

動物用医薬品
馬用胃潰瘍予防治療剤
要指示医薬品 指定医薬品 使用基準



ハイオネート®

動物用医薬品
馬用非感染性関節炎治療薬



LMFシリーズ(配合飼料)

SUPER SUPPLEMENT (繁殖・当歳~18ヵ月令 蛋白質21%)
SUPER SUPPLEMENT Hi-Pro (繁殖・当歳~18ヵ月令 粗蛋白質30%)
RACE (競走・育成馬 粗蛋白質13%)
RACE Hi-Pro (競走・育成馬 粗蛋白質16%)
PERFORMANCE CONCENTRATE (競走・育成馬 燕麦無 粗蛋白質12%)
SENIOR (高齢馬)



EQUINE FIRSTシリーズ

AMINOLYTE (アミノライト) 電解質補給・分岐アミノ酸 (BCAA)
FLEX (フレックス) 関節のサポート
COOL CARE (クールケア) 胃腸のサポート
FOUNDATION HOOF (ファンデーション フーフ) 蹄のサポート
PRG-P (リカバリージェルパウダー) 筋肉のサポート
DIGEST Powder (ダイジェストパウダー) 生菌製剤・プロ/プレバイオテックパウダー
DIGEST Paste (ダイジェストペースト) 生菌製剤・プロ/プレバイオテックペースト
B-RELAXED (ビーラックス) 馬の環境変化に

EBM Trading Japan KK
Evidence-based Biotechnology and Machinery

EBM トレーディング ジャパン 株式会社

本社 〒004-0052 北海道札幌市厚別区厚別中央2条5丁目3番31号 新札幌第一生命ビルディング2階
Tel. (011) 827-5960 Fax. (011) 827-5962 <http://www.ebmtrading.com>
関東支店・関西支店

ミルクから生まれたサプリメント



馬用サプリメント

BFMP®



300g

骨の健康維持をサポート!

ミルクに含まれる微量のタンパク質 BFMP® (Basic Fraction of Milk Protein) を配合しています。
このサプリメント10gにBFMP®が1,000mg配合されています。
1日1頭あたり10gをめやすに、飼料にふりかけるか、水に溶かして給与してください。

馬用サプリメント

スノービルダー®



900g

トレーニング後の栄養補給に!

ミルクのホエイたん白質は分岐鎖アミノ酸:BCAAが構成アミノ酸の20%以上含まれています。BCAAは筋肉を構成し、激しい運動の際にはエネルギー源になります。
分子量が小さく、消化吸収に優れたホエイペプチドが主成分です。
調教後に1日1頭あたり30gをめやすに、飼料にふりかけるか、水に溶かして給与してください。

●北海道でのご用命は



Hokuchiku 株式会社ホクチク

競走馬飼料・資材のバイオニア【本社】TEL:0146-28-1011

●都府県でのご用命は



JRAファシリティーズ株式会社

【美浦事業所】TEL:029-885-2161【栗東事業所】TEL:077-558-0319

●製造元



雪印種苗

<https://www.snowseed.co.jp/>

「クッシー・プランニング ～喜びをもたらす外国人支援の新たな一歩～」

合同会社クッシー・プランニング代表社員

稲岡 千春

私は2021年5月に浦河町役場が増え続ける外国人（主にインド人）の状況を把握するために行った「外国人生活調査事業」の現地駐在員（ヒンディー語通訳）として東京から浦河町に移住して来ました。初年度は牧場やインド人たちへの聞き取り調査、生活相談、行政窓口での通訳として活動し、2年目の2022年から2024年度までは「地域おこし協力隊」として外国人支援（特に母子の支援）をメインに活動してまいりました。

牧場で働くインド人の夫に帯同して来日した女性と子どもたちの病院受診、健康診断、幼稚園・学校での通訳や説明、買い物の補助など、日本語ができない彼らが困っている日常生活のお世話をしてきたため、私はインド人社会では「おばあちゃん（ダーディー・マー）」というニックネームで呼ばれています。

病院受診の付き添いなどで女性や子どもたちに親しく接しているうちに彼らに特有の体調不良の存在を知ることになりました。もともと菜食主義者が多く貧血が国民病と言われるインドですが、それでも祖国にいるときには豊富な緑黄色野菜が彼らの健康を支えていたようです。

しかし残念なことに彼らが祖国で食べていた野菜は日本では入手困難です。私は少しでも彼らの食生活を改善できればとの思いから、インド野菜の耕作と普及に努めてまいりました。協力してくれる農家も増え、毎年夏にはヘチマやマクワウリ、三尺ささげ、ユウガオなど普段我々の食卓に上ることの少ない野菜を作っていただけになりました。このインド野菜が日本全国の南アジア出身者社会へ送り出す産業に発展してゆけば、浦河の新しい特産品になるのではないかと思います。

浦河町に来た当初は、この町の労使間の慣習と都市部から来た私の認識との間にあった隔たりから、お叱り

を受けることも多々ありました。しかし、4年間この地で暮らし報道などで活動内容を知ってもらえる機会が増えた今では、仕事の現場での意思疎通のための通訳として私を活用していただくことも多くなりました。

意思疎通ができればこれまでは「労働力」であった外国人たちが「共に働く仲間」として扱われ、職場環境も改善されてゆくのではないかと思います。また職場の安全衛生のために外国人への日本語教育も進めてゆく必要があると思います。

地域おこし協力隊は2025年3月に任期満了となりましたが、私にとってはまだやり残した仕事があるため、4月より「合同会社クッシー・プランニング」を立ち上げました。「クッシー（KHUSHEE）」はヒンディー語で「喜び」「幸せ」を意味します。また日高地域「屈指」の会社に成長し、優秀な後継者を育てたいという思いも込めています。

今後は浦河町に限定せず日高地域の行政機関や牧場でヒンディー語を活かした活動を続け、外国人が「市民・町民」として共に暮らせるコミュニティ作りに貢献してゆければ嬉しく思います。



上列右端が筆者

競走馬に対する再生医療

日本中央競馬会 栗東トレーニング・センター 競走馬診療所

田村 周久

はじめに

高いパフォーマンスを有する競走馬は、腱、靱帯、関節軟骨等の整形外科疾患を発症することがあります。抗炎症薬やコルチコステロイド、ヒアルロン酸等の治療が実施されていますが、損傷部の根本的な修復につながらないことが指摘されています。こうした従来の治療法に加えて、損傷した組織や臓器を修復する再生医療が新たな治療として期待されているところです。

今回は、多血小板血漿と間葉系幹細胞による治療法についてご紹介します。また、海外において臨床研究が進んでいる細胞外小胞や、自己調整血清を用いた治療についても紹介致します。

多血小板血漿：PRP

多血小板血漿（Platelet-Rich Plasma：PRP）は、血液を濃縮して得られる血小板由来の製剤です。PDGF（血小板由来成長因子）、TGF- β （トランスフォーミング増殖因子 β ）、IGF（インスリン様成長因子）等の成長因子を豊富に含むため、抗炎症作用と組織修復効果があると考えられています。

競走馬に対する臨床研究も多数報告されており、腱炎や靱帯炎発症例の患部にPRPを直接投与することでI型コラーゲンやIII型コラーゲンの産生を促進し、治癒を早める効果があると考えられています。その一方、PRPによる修復は瘢痕形成を促進する（してしまう）作用があります。瘢痕形成は短期間で損傷した部位を埋め合わせるメリットがあります。例えば褥瘡や靱帯炎では、損傷・欠損した部位の強度を取り戻すことによって機能は回復します。しかし、神経組織の場合に、神経細胞による修復ではなく瘢痕形成が進んでしまうと、神経伝達する機能は回復しません。瘢痕組織が形成されることによって、かえって機能が阻害されてしまいます。

競走馬の浅屈腱においても、弾性エネルギーを蓄積する

機能が重要視されています。PRPを浅屈腱に使用すると瘢痕形成が進む恐れがあり、弾性エネルギーを蓄積する機能が低下する可能性があるため、浅屈腱炎への使用を推奨しない、という考え方もあります。

また、関節疾患への適応に関するレビューやメタアナリシスも報告されており、PRPはウマ変形性関節症に対する治療として有効であり、細菌感染した関節炎に対しても治療効果を示す可能性が示されています。

間葉系幹細胞を用いた治療と比較して、PRPは培養が不要ですので、臨床現場ですぐに実施できる治療法として実用性が高いとされています。ただ、作製する際には、PRP投与による感染リスクを減らすために、無菌的な作業が必須です＜写真1＞。

PRPを用いた研究成果は多数報告されています。ただし、それらを正しく理解するためには、各研究におけるPRPの作製方法や使用方法に注目することが重要です。作製方法によって白血球の含有率が異なり、この違いによって治療



＜写真1＞ PRP作製時は感染リスクを下げるためにフィルター等を利用して滅菌処理を実施します。

効果が異なることも報告されています。また、投与方法や治療回数に関する標準的なプロトコルは確立されていません。目的に見合った治療効果を得るためには、様々な観点から有効性を検証することが求められています。

間葉系幹細胞 (MSCs)

間葉系幹細胞 (Mesenchymal Stem Cells ; MSCs) は骨髄液や脂肪組織等にわずかに含まれている細胞で、軟骨、骨および脂肪等に分化する能力を有しています。PRPと同様に多数の成長因子を含んでおり、それらを分泌する能力も持っています。また、抗炎症作用に加え、生体本来の組織修復作用を高める機能があるので、競走馬の整形外科領域において最も期待されています。

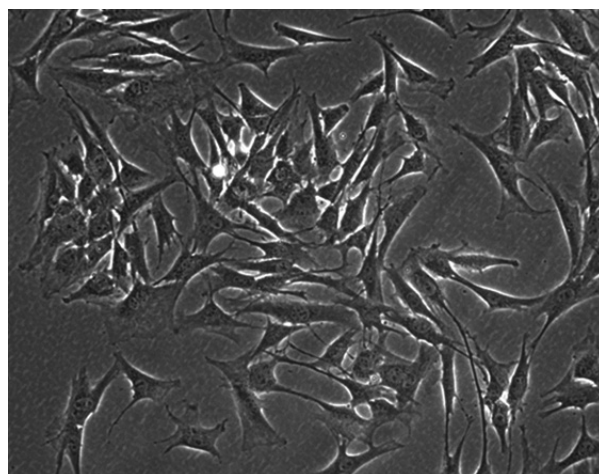
競走馬の浅屈腱炎症例において、骨髄由来 MSCs を投与した症例と投与しなかった症例とを比較したところ、投与した症例のほうが、競走復帰後に5レース以上を出走できた割合が高かったと報告されています。また、繋靱帯炎症例に対しても MSCs を投与することによって、競走復帰割合を高めたとする報告もあります。これらの研究では、超音波検査を用いた損傷部の早期縮小や、炎症時に産生される物質であるグリコサミノグリカンの濃度減少についても併せて報告されています。これらのことから、MSCs を治療薬として用いることによって、組織修復と抗炎症作用の双方において有効であることが示されています。

筆者が所属する日本中央競馬会においても、骨髄由来 MSCs を用いた臨床研究を15年以上継続しています。現在では、多数の MSCs を凝集体にしてから投与することによって、損傷した腱組織の修復効果を高めることに成功しています。今後は治療頭数を増やし、その有効性を更に検証する予定です<写真2、3>。

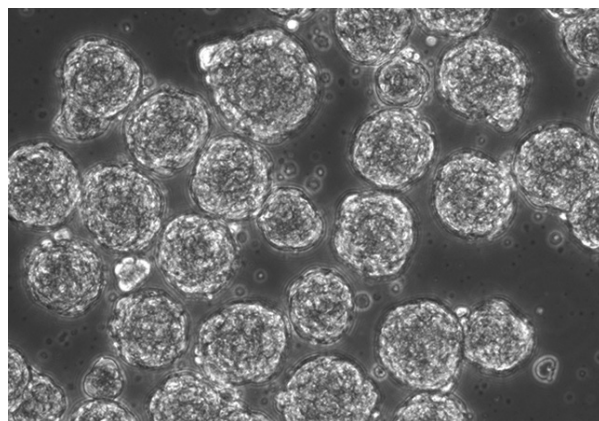
また、海外では一般薬と同様に、MSCs が購入可能な薬剤として販売されています（日本国内では販売されていません）。特に注目されているのが、事前に MSCs を分化誘導した製品です。投与する対象組織（損傷した部位）に適合するように、MSCs をあらかじめ分化誘導しておくことで、MSCs の組織定着率が増加し、治療効果の向上に寄与すると考えられています。例えば、軟骨分化誘導済みのウマ MSCs は変形性関節症治療に対する有望な治療法であることが示されています。また、腱前駆細胞に誘導済みのウマ MSCs は、腱損傷部に投与することによって、同部の腫脹や圧痛を軽減させ、超音波検査においても線維配列を改善させたこと

も報告されています。さらに、損傷部の早期縮小や再発率の低下についても効果があったとされています。

このように製品として販売されている MSCs は、培養期間を必要とせず、すぐに利用できる大きなメリットがあります。その一方、他のウマから採取された MSCs を利用することになるため、少なからず拒絶反応などの生体反応が生じるリスクがあります。今後もさらに安全性や有効性に関する経験や知見を積み重ねる必要があると考えられます。



<写真2>培養シャーレの上で増殖している MSCs。



<写真3>培養した MSCs を用いて作製された凝集体。

細胞外小胞 (EVs)

生体内の細胞の中には、他の細胞や組織に影響を与える機能をもつ細胞があります。MSCs も組織修復作用や抗炎症作用を高めるために、他の細胞にシグナルを送っていると考えられています。そのシグナルの一つが、細胞外小胞 (Extracellular Vesicles ; EVs) と呼ばれており、再生医療の観点から注目されています。EVs は細胞から分泌される膜に包まれた物体でして、内部にタンパク質等を含んでいます。EVs はそのサイズによってエクソソームとも呼ばれること

もあります。これらの物質は血流等によって輸送され、対象となる細胞や組織で効果を発現することが知られています。再生医療で用いる場合は、MSCsを大量に培養し、その培養上清を遠心分離して、精製されています。

これまでに骨髄由来 MSCs から分泌された EVs が組織炎症に関わる遺伝子を抑制することや、軟骨の保護効果を高めることが報告されています。また、細胞外マトリックスの増殖を促進し、組織修復する作用があることが示されています。また PRP や MSCs は細胞を利用するため、他の個体に投与すると生体反応が生じるリスクがありますが、EVs は細胞よりもかなり小さいため、生体反応が生じにくいメリットがあると考えられています。

その一方、機能や治療メカニズムに関する知見が少なく、効果についても不明瞭な状況です。骨髄由来 MSCs と脂肪由来 MSCs では得られる EVs の種類が異なることも報告されており、その優劣や適切な投与量についても明らかになっていません。また、中には症状を悪化させる EVs が存在している可能性も指摘されています。近年はエクソソームという用語が化粧品や美容クリニックで頻繁に使用されているため、日本再生医療学会は安易な利用に対して注意文書を HP に掲示している状況です。今後の有望な治療方法ではありますが、適切な培養方法、無菌的な取り扱いや品質管理が伴っていなければ有害事象の原因となります。ヒト医療と同様に、ウマ獣医療においても EVs やエクソソームによる先進的治療が期待されていることは事実ですが、まだ科学的な観点に基づいた検証や、治療ガイドラインの策定等が必要な状況にあります。

自己調製血清 (ACS)

自己調製血清 (Autologous Conditioned Serum ; ACS)

は、静脈血を処理して得られます。血液を材料にするという点で PRP と似ていますが、ACS は血小板を利用しないため、両者は異なる治療法として認識されています。

競走馬では IL - 1 受容体アンタゴニスト (IL - 1Ra) の濃縮液である IRAP を用いた治療が注目されています。関節炎を発症すると、タンパク質の一つである IL - 1 が産生され、炎症を強める原因となっています。IL - 1Ra は IL - 1 の作用を抑制するため、抗炎症タンパク質として知られています。IRAP を球節や腕節等の関節内に投与することで、関節軟骨の損傷を緩和し、長期的には再生を促進すると考えられています。

これまでに、手根関節に炎症を有する馬の関節内に ACS を投与すると、跛行が改善し、組織学的にも滑膜炎が抑制されていたことが明らかになっています。副作用等の報告もなく、有望な治療法として期待されていますが、PRP や MSCs と比較して臨床研究が少ないため、普及にあたって更なる臨床報告が求められています。

おわりに

競走馬に対する再生医療をテーマにして、PRP、MSCs、EVs および ACS について新しい知見を含めて紹介しました。いずれの治療法もヒト整形外科領域では注目されており、実際に変形性膝関節症や脊椎疾患の治療に結びついている例もあります。ウマ獣医療においても同様でして、この10年間における競走馬の整形外科疾患に対する臨床研究では、再生医療を用いた研究報告が飛躍的に増加しています。今後もエビデンスを積み重ねることによって、ヒト医療と同様の成果が出てくることが期待されています。その一方、各治療法に関する科学的検証や適切な標準化等が求められていることも事実です。今後の研究進展を期待するとともに、正しい知識を学んで利用したいと考えています。



スマホでも
パソコンでも！

BTC NEWS

最新号からバックナンバーまで
WEBでご覧いただけます

30周年

QRコード

人と動物の幸福に貢献します。

配合飼料、牧草、敷料、サプリメント、単味飼料

 株式会社
岩崎清七商店

Photo by Misao TAKAKUSA

日本ウマ科学会第 38 回学術集会のお知らせ

日本ウマ科学会第 38 回学術集会を、2025 年 12 月 1 日（月）～2 日（火）に KFC Hall & Rooms（東京都墨田区横網 1-6-1）において開催します。プログラムとして一般講演、優秀発表賞講演、奨励賞受賞講演、臨床委員会企画招待講演、ランチョンセミナー、企業展示等を予定しておりますが、状況により開催方法や内容を変更することがあります。最新情報は、日本ウマ科学会ホームページ（<https://jses.jp>）をご覧ください。

なお、日本ウマ科学会「認定馬臨床獣医師」認定のための第 6 回認定試験については、2025 年 12 月 2 日（火）に同会場で実施します。

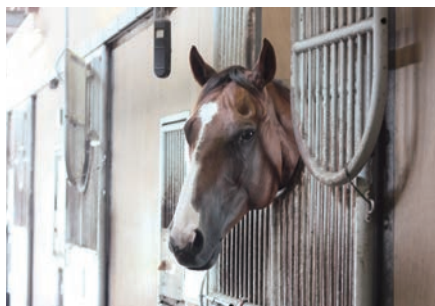


BTC 調教場

（浦河高校写真部 BTC フォトコンテスト用撮影）



鎌田堅靖「ひと休憩」



五十嵐来実「じっ」



神田悠希「眠たい」

BTC講演会～続ける力・あきらめない心～

公益財団法人 軽種馬育成調教センター 業務課

土田 隼平

2025年6月19日、名古屋競馬 宮下瞳騎手を浦河ウエリントンホテルにお招きし、講演会を開催しました（BTC利用者振興会・BTC共催、ひだか東農業協同組合・JRA日高育成牧場後援）。

宮下騎手は1995年に名古屋競馬所属の騎手としてデビュー。同年10月にショウワミラクル号で初勝利を挙げて以来、女性騎手の第一人者として活躍してきました。2011年の出産を機に騎手免許を返納し、一度騎手を引退しましたが、家事育児をしながら2016年に騎手免許を再取得し、現役復帰を果たしました。2024年4月にはこれまでの功績が認められ、女性騎手として初めて黄綬褒章を受章、また同年の年間勝利数が116勝となり、自身が持つ女性騎手地方競馬年間通算勝利数記録を更新、さらに2025年1月には通算1,300勝、5月には通算15,000回騎乗を達成しました。

今回の講演は「続ける力・あきらめない心」をテーマに、事前に参加者から寄せられた質問を中心にインタビュー形式で講演を行っていただきました。以下、講演内容を一部抜粋してご紹介します。



講師の宮下瞳騎手

Q. 騎手を目指そうと思ったきっかけは？

A. 祖父が馬を飼っており、小さいころから馬に乗ったりお世話をしていたことで自然と騎手を目指そうと思いました。また、兄が名古屋競馬の騎手だったので、それに憧れていたことも1つの要因です。

Q. 騎手になるのに最も苦労したことは？

A. 男性に比べて体力面で劣っていることを補うため、毎日ランニング、水泳、乗馬、筋力トレーニングをして体力づくりをしたことです。

Q. トレーニングの辛さはどのように乗り越えたか？

A. 元々馬に乗ることが大好きなので、トレーニングを苦労とは思わなかったです。辛さよりも馬に乗りたいという気持ちのほうが強かったです。



会場の様子①

Q. 馬と信頼関係を築くうえで大切にされていることは？

A. 毎日同じ馬を調教しますが、馬にもその日の体調や機嫌の良し悪しがあると思うので、それを馬の雰囲気や手綱から感じ、しっかり観察しながら騎乗するように心がけています。

Q. 2011年8月に出産を機に現役を引退した際はどんな気持ちだったか？

A. 引退時は、1年半の予定で韓国の釜山で騎乗している際中だった。まだ残り1ヵ月程騎乗期間があったものの、義母が倒れてしまったため、急遽帰国して看病することになった。そうこうしているうちに、半年ほど騎乗しなかった期間が空いてしまい、その後もう一度馬に乗ろうという気持ちにはなれなかったため、そのまま引退しました。

Q. 出産と育児を経て復帰を決意した理由は？

A. 息子が2人いますが、当時私が騎手だったことを知りません。私が馬に乗っている写真を息子が見て「これ、だれ？」と尋ねるので、「ママだよ。ママは騎手だったんだよ」と教

えると、「ママが馬に乗っている姿を見たい」と言われたので、頑張っている自分の背中を息子に見せたいと思い、現役復帰を決意しました。

Q. 5年間のブランクを経て騎手に復帰するのは相当大変だと思うが、復帰するうえで最も苦労したことは？

A. 5年間主婦しかしていなかったため、体力がなくなっていて、それを取り戻すことに最も苦労しました。走って泳いで体力をつけること、また、馬に触れる機会を増やすため厩務員をさせてもらいながら騎手復帰に向けて頑張りました。

Q. レースの本命馬に騎乗して負けてしまうこともあると思うが、自分の騎乗がうまくいかなかったときはどのように乗り越えてきたか？

A. 負けてしまって悔しい気持ちはもちろんあるが、帰宅後に息子たちから「今日どうだった？」と結果を聞かれて、「負けた」と答えると、「次頑張れば良いじゃん」と言ってくれます。その言葉にいつも救われ、次も頑張ろうという気持ちにしてもらっています。夫からはあまり厳しいことを言われたことはありませんが、アドバイスを求めた時はきちんと答えてくれて、いつも優しく支えてくれています。

Q. 女性ということを強みに感じたことは？

A. レースの斤量面です。現在私自身は2kg減ですが、新人女性騎手は4kg減から始まるので、すごく有利になると感じます。2kg減でも差が大きく感じられることが多くあるので、その面では女性で良かったと思います。オープン競走や上のクラスに行けば行くほど、わずか1kg減でも斤量の差は大きく感じます。

Q. 騎手をするための日々の体調管理について、実際に行っていることは？

A. 家ではバランスボールやストレッチ棒を使用して体をほぐすようにしています。また、息子たちがパーソナルトレーニングに通っており、そこで行われているトレーニングを家で実践しています。怪我した部位のケアはお風呂で温めること、ストレッチを長めに行うことを意識しています。

Q. メンタルコントロールや気持ちの持ち方についてなにか工夫していることは？

A. 特にこれといったことはしていませんが、毎日の調教は誰よりも早く、1頭でも多く乗りたいという気持ちで早起きするようにしています。最近は午前1時から調教を始めて、1日22~25頭乗っています。「レースで負けたくない。毎日大事に調教している馬を勝たせたい。」という強い気持ちを常に持っています。

Q. 騎手として育成牧場に望むことは？

A. 人を信頼してくれる馬に育てていただけるとありがたいです。馬と人との信頼関係が築かれていない状態だと、装鞍

や並走時に暴れたり人馬に危害を加えることがあります。日頃から馬との信頼関係を大切にしながら育成してほしいです。



会場の様子②

Q. 今後の目標は？

A. 今後については、騎手という職業が大好きで（限界が来るまで）乗り続けたいという気持ち、調教師に挑戦したいという気持ち、騎手を目指す2人の息子と一緒に（レースに）乗りたいという気持ちと色々迷っています。当面の目標としては、毎日人馬ともに怪我をしないように、1つ1つ勝利を積み重ねていきたいです。

Q. 軽種馬生産地で働くホースマンへエールを！

A. 騎手として、また厩務員としての経験から、1頭の馬がレースに向かうまでに多くの人の努力が積み重ねられていることを知りました。私たち騎手は（レースに出走するまでに）関わってきた方への感謝の気持ちを絶対に忘れず、（勝利に）繋げていきたいと思います。

牧場従業員や厩務員、騎手を目指す方はたくさんいると思いますが、馬を大好きな気持ちを常に忘れずにいてください。皆さんの力があるからこそ競馬サークルが盛り上がっていくと思いますので、お互いに大好きな馬のために頑張っていきましょう。

結びに

宮下騎手の「続ける力・あきらめない心」の原点には「馬が大好きという初心の気持ち」「大切な家族の存在」がありました。辛いことや苦労があったとしても、「馬が大好き」という初心を常に忘れずにいたからこそ、騎手生活を長く続けることができ、様々な大記録に繋がっているのだと思います。また、復帰のきっかけや日々の気持ちのリフレッシュには、大切にされている家族の存在が大きいということがとても印象的でした。

今回は大変お忙しい中、講演をしていただいた宮下瞳騎手並びにご関係者の皆様にこの場をお借りしてお礼申し上げますとともに、今後の益々のご活躍を祈念しております。



エクエヌテクト®ERP

馬鼻肺炎生ワクチン(シード)



その他の馬用ワクチン

- 日生研日本脳炎TC不活化ワクチン
- エクエヌテクトFLU
- 日生研日脳・馬ゲタ混合不活化ワクチン
- エクエヌテクトJIT
- 日生研馬ロタウイルス病不活化ワクチン
- 破傷風トキシノイド「日生研」



日生研株式会社

〒198-0024 東京都青梅市新町9丁目2221番地の1

TEL 0428-33-1009(営業部)

URL <https://www.jp-nisseiken.co.jp>

Thoroughbred Breeders Club – Stallions Information–

国内で重賞3勝、海外でG1 2着 4回、芝2000mのスペシャリスト



プログノーシス

Prognosis(JPN)
2018年生 千歳産 鹿毛

父:ディーブインパクト 母*ヴェルダ(by Observatory)

- ・ **G2**金鯱賞ではドウレツツアやポタジエ、**G2**札幌記念ではジャックドールやシャフリヤールとG1馬を相手に2000mの舞台で圧勝した逸材。
- ・ 香港最強馬ロマンチックウォリアーとの激闘など香港の**G1**クイーンエリザベス2世Cは3年連続の2着。オーストラリアでは**G1**コックスプレートで当地の最強牝馬ヴィアシスティナを相手に2着と世界トップレベルの実力を見せる。
- ・ 半姉ヴォルダはイギリスの出世レース**G1**チェヴァリーパークSを制した名牝。

19戦 7勝 2着5回 3着2回 総賞金3億4595万1000円、1852万HK\$、70万豪\$	
1st 金鯱賞-G2[2回]	芝2000m
1st 札幌記念-G2	芝2000m
2nd クイーンエリザベス2世C[3回]-G1	芝2000m
2nd コックスプレート-G1	芝2000m
3rd 天皇賞(秋)-G1	芝2000m

配合申し込み・お問い合わせは ▶▶ TEL 01456-2-2121 ブリーダーズクラブ遠藤・秋山・福島まで!

繁殖



ブリーダーズスタリオンステーション
〒055-0004 北海道沙流郡日高町富川東2丁目972番地3
TEL 01456 (2) 0945 FAX 01456 (2) 2054

事務局
照会



(株)サラブレッドブリーダーズクラブ
〒055-0004 北海道沙流郡日高町富川東3丁目3番1号
TEL 01456 (2) 2121・2122 FAX 01456 (2) 2505

イギリスとアイルランドの育成について（その②）

日本中央競馬会 日高育成牧場 調査役

竹部 直矢

前はジャドモントファームの騎乗馴致のうち、ローラー装着（胴締め）とダブルレーン装着までの部分をご紹介しました。本稿では、その後から初期の騎乗調教までについてどのように行われているかをご紹介します。

ドライビングについて

ダブルレーンを受け入れた後にはドライビングを行います。騎乗馴致開始から14日目頃まで行い、覆馬場の中で7、8頭程のグループ毎に、全馬一列で常歩によるドライビングを行います。

ドライビングをする主な目的は、手綱と銜（はみ）の操作に馬を馴らすことを、騎乗することなく実施することにあります。馬が自分から前向きに動く気持ちを醸成するという目的もあります。まだ経験不足の馬の中には、前に進んで行かない馬も少なくありません。このような場合には、騎乗して鞭や脚扶助を使うよりも、ドライビングで馬の後方からの音声やレーンを用いた扶助によりプレッシャーをかけた方が、馬が前に行くことを理解しやすいと考えられます。後方からのプレッシャーのオンとオフを的確に使うことで、馬は人の指示で前に進むことを覚えていきます。

また、馬は本能的に前の馬についていく性質があるので、隊列の2番手以降の馬は比較的スムーズに歩くことができますが、先頭の馬は物見をしたり止まりやすいものです。ドライビングの期間に各馬の個性を理解し、止まり癖のある馬を前向きに矯正することができれば、以降の騎乗運動に良い状態で繋げることができます。ジャドモントファームでは、この目的で一定時間ずつ先頭の馬を交代し、全頭が毎日先頭を経験するように馴らしていました。その結果、約1週間ではほぼ全ての馬が先頭でも活発に歩けるようになりました。

こうした準備が整ったら、覆馬場から屋外の環境に場所を移してドライビングをしていきます。牧場内の行ったことがない場所にどんどん進出していき、環境が変わっても物見

をせず歩けるようにトレーニングしていきます。この際には馴致用のゲートも通していきます。初めて見るゲートを嫌がり、入っていかない馬が多くいますが、このようなケースでは物怖じしない馬を先頭にして歩かせることで、前の馬についていく性質を利用して通過させます。すると、ほとんどの馬は2回目から問題なく通過ができるようになります。



初めてのゲート通過は拒む馬がありますが、一列で向かうことで受け入れやすくなります。

このように、ドライビングの期間に馬の前進氣勢や環境への馴致を進めていきます。なお、この工程はほぼ牝牝共通で、進め方や日数に大きな違いはありませんでした。

馬房内の騎乗

次に行われるのは馬房内で人を乗せる馴致です。この工程においては、牝牝で進め方が異なりました。

牝はローラー装着の時と同様、少しずつ段階的に進める「積み上げ式」の馴致を行います。JRA日高育成牧場の馴致でも同様なのですが、初めて馬にまたがる際は、驚いて暴れたり立ち上がったたりして危険なことがあります。そのため、乗る前に横でジャンプしたり、腹ばいになって背中に乗ってみる「横乗り」で馬の反応を確認し、問題がなければ跨ります。ジャドモントの牝群も同様のアプローチで進めるのですが、初めての刺激に緊張したり抵抗する馬が多く、初日

で跨ることができる馬は半数以下だったと記憶しています。この工程は危険が伴うこともありますが、一度怖がらせたりトラウマを植え付けてしまうと人を乗せない馬になってしまうことがあるため、馬の反応を確認しながら慎重に進めることが重要という考えなのだと思います。



牡は反応をたしかめながら慎重に横乗りを経由して跨る。

一方、牝馬の群ではあまり気を遣わずに進めていました。もちろん馬の様子はよく確認するのですが、初日からどんどん跨っていき、横乗りを経由しないですぐに跨ることができる馬も多くいました。突然跨られた馬の何頭かは、初めての状況にパニックを起こしそうになりますが、乗り手はそのような場面でなだめるというよりはむしろ大きな声を出し、脚扶助や平手で腹部を叩くなどのアクションを大胆に使いながら、半ば強引に前に歩かせます。前回の原稿でご紹介したランジングの初日と同様、初めから大きな刺激を与えて乗り越えさせる「Big Step」式の方法と言えます。初めて跨る際に最も危険なことは、馬が立ち上がって後方にひっくり返ることなので、乗り手はとにかく前に歩かせ馬房内を活発に回ります。また、立ち上がろうとする馬は必ず立ち止まるの

で、止まってしまったら即座に円の内側の手綱を大きく開き馬を横に向かせます。馬は横に動かすとまた歩き出すこと、横に屈曲した体勢では立ち上がれないことからこのような対処をして歩行を続けさせます。50頭近くいた牝馬のうち、立ち上がったたり突進したりするなど危険な反応をした馬はわずか1、2頭程度で、約20分かけて乗られた後には、ほぼ全ての馬が人の騎乗を受け入れ、チューイングサインを出し納得した様子を示しているのが印象的でした。



牝は初日からすぐに跨り、腹部を叩くなどして馬房内をどんどん歩かせる。

このような牝牝における馴致手順の違いは、馬の緊張感や反応に大きな差が存在することが理由として挙げられます。牝では、騎乗初日には緊張感がありピリピリした雰囲気馬が多く、いきなり跨ることはとても受け入れることができなさそうでした。これに対して、牝は非常に落ち着いていました。この要因はやはり性差による性質の違いが大きいと感じます。牝は人に対して挑んでくるような反抗的行動をとりやすいと思われるので、より危険な反応をする可能性が高いため慎重に行う必要があるのでしょう。

騎乗調教の開始

馬房内での騎乗には牝牝どちらも4、5日かけます。馬が人に乗られることを受け入れた後は、馬房の外の世界での騎乗に移っていきます。7、8頭程度の群で一列になり、牧場内の通路や調教馬場などで速歩運動を行い、環境に馴らしていきます。概ね1週間程度をこの運動に費やし、馬が前に出ることを確認しながら環境馴致を進めていきます。初めての場所に戸惑う馬もいますが、物怖じしない馬が先導することで、馬が徐々に覚えて運動することができます。



一列で場内の通路を速歩する様子

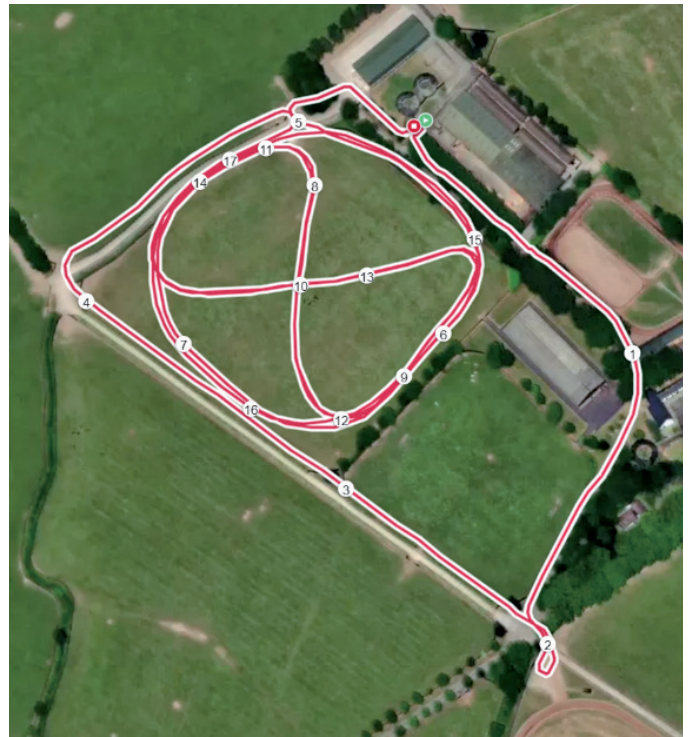
そして馴致開始26日頃からは、放牧地での騎乗を行います。ここまでご紹介してきた騎乗馴致の期間は、夜間放牧を行いながら馴致をしているのですが、この夜間放牧を行っている放牧地内で1週間程度速歩、駈歩の運動を行います。GPSの軌跡画像に示したように、場内の通路を速歩で1周回った後に放牧地に入り、8の字を描くように速歩での手前変換を数回行います。最後にゆっくりとしたペースのキャンターで大きく1～2周するメニューで、騎乗している時間は20分程度です。

アイルランドの放牧地は、ライムストーン（石灰岩）を多く含んだ肥沃な土壌で、日本の一般的な放牧地よりも粒子が細かいように感じました。そこに降水量の多い気候も相まって、日本の放牧地よりも枝拔きの悪いぐちゃぐちゃとした地面になっており、かつ最大で3～4%の上り下りの傾斜が存在しています。



ぬかるみが強く傾斜のある放牧地で速歩、駈歩を行う

このような放牧地で初期の騎乗運動を行うメリットとして二つ実感しました。



放牧地騎乗時の運動経路をGPSで記録したもの。速歩で8の字を描くように手前変換を行うことで、手綱操作で曲がることや体勢変換することを教えます。

一つ目は、馬が慣れ親しんだ環境で運動できるということです。乗り始めて間もない若馬は、精神的にも未熟であるので、暴れたり危険な行動をとることがよくあります。そのような時期に、普段長い時間を過ごしている放牧地で騎乗することは、馬が落ち着きやすいと考えられるので、より安全に騎乗運動ができると思います。英愛のホースマンたちは、馬の落ち着いたメンタルを重要視しているので、そのような考え方にも合致する方法だと言えます。

二つ目は、このぬかるみや勾配の中で運動することが、馬にとって見た目以上にハードであるということです。乗っている私自身も、不安定に動く馬の背中の上でバランスをキープするために体幹の筋肉をかなり使った感覚で、一鞍乗ると汗だくになっていました。馬も同様に、強いぬかるみや傾斜の中でバランスをとったり、肢をとられやすい地面から肢を高く引き上げる動きは力を使うので、手を抜かず一生懸命運動しなければなりません。肉体的なトレーニング効果はもちろん期待できるのですが、「一生懸命に」運動することでイレギュラーな行動（暴れたり、跳ねたり、立ち上がった）をとる余裕が無いようにも感じました。こうした面から、初期の騎乗調教を安全に行うために有効な方法の一つだと感じました。

BTC研修 OB・OG 浦河会の新人歓迎会が開催される!

BTC研修 OB・OG 浦河会 会長兼幹事 岡本 幸也

2024年3月より、BTC研修 OB・OG 浦河会の会長兼幹事を務めさせていただくことになりました、宮内牧場 育成場長の岡本と申します。今回はBTC研修 OB・OG 浦河会について報告させていただきます。

BTC研修 OB・OG 浦河会について

BTC研修は1992年に第1期生を迎えて開始され（当時は6ヵ月間の研修）、現在は第43期生が研修中です。これまでに600名を超える修了生を輩出しており、修了後も研修生同士がつながり続け、互いに成長し合える場として、2014年にOB・OG 浦河会が発足し懇親を深めてきました。コロナ禍により一時活動を休止していましたが、2024年より活動を再開しています。

現在、浦河町には52名のOB・OGが在住しており、OB・OG会を通して世代を超えた縦のつながりが生まれ、また、同期の連携も強化され、支え合いながら成長していける環境が生まれています。個々の経験で得られた知識や技術を共有できる、非常に貴重なコミュニティとして、今後さらに発展させていきたいと考えています。

新人歓迎会

2025年6月6日、うらかわ優駿ビレッジAERUにて、今年から新たに会に加わった42期生（2025年4月修了）10名の歓迎会を実施しました。

当日は、OB・OG 浦河会19名、新人10名、BTC職員8名の計37名が参加し、和やかな雰囲気の中で世代を超えた交流が行われました。新人の皆さんに先輩や職員の顔を覚えてもらうこと、若手修了生が悩みや疑問を気軽に相談で

きる場とすることを目的に、ミニゲームも交えながら活発な意見交換が行われました。

また、ゲームの景品として、研修修了生のJRA調教師の皆さまからご寄付をいただきました。この場を借りて、あらためて感謝申し上げます（ご協力、本当にありがとうございました!）。新人や若手にとっては、日々の仕事へのやる気にもつながる、大変有意義な機会となりました。



景品をいただき感謝の会員の皆さん

こうした世代を超えたつながりを実感できる時間は、BTC全体の活性化につながるだけでなく、若手の技術向上にも貴重な場になったと感じています。今後は、今回ご都合がつかなかった方々にも、次の機会にぜひご参加いただけるようお声がけを続けてまいります。そして、先輩と後輩が互いに刺激し合い、より良い馬づくりへとつながる交流を深めていきたいと思います。



新人歓迎会の様子



BTC研修 OB・OG 浦河会 新人歓迎会に出席された皆さん

GREENWeb
CHANNEL

GREEN
CHANNEL

BS234ch

絶・賛・放・送・中 !!

グリーンチャンネルは中央競馬全レース中継をはじめ、
地方・海外競馬中継、展望番組なども放送中！

GREEN
CHANNEL
?
見るには

スカパー！(BS234ch)、スカパー/プレミアム/光(688・689ch)、J:COM、eo光テレビほか、
全国のケーブルテレビ局、ひかりTV、au ひかりからご覧いただけます。また、グリーンチャンネル
Web(マルチ会員 1,000 円税別/スマホ会員 500 円税別)で、外出先でもお楽しみいただけます。

グリーンチャンネルの視聴方法・番組内容に関するお問い合わせ
または、お客様コール 03-5620-3344(10:00~17:00 年末年始・祝祭日は除く)

グリーンチャンネル

検索



一緒に働くスタッフを募集しています。
詳細はお電話でのお問い合わせ、
またはウェブサイトをご覧ください。

Tel:0123-21-2311(担当:佐藤、青田)



リクルートサイト

杜台ファーム

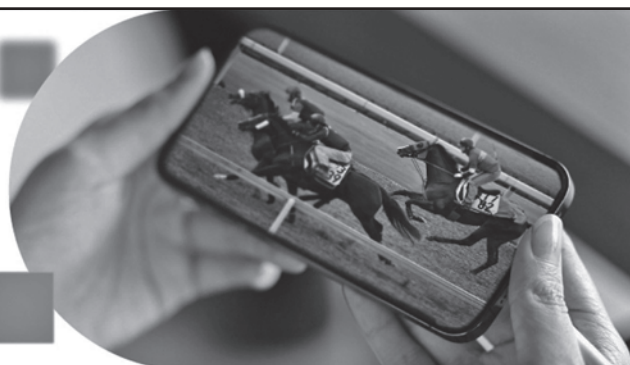
〒069-1181 北海道千歳市東丘 1288-140

社台ファーム鈴鹿	〒519-0323	三重県鈴鹿市伊船町 136
山元トレーニングセンター	〒989-2111	宮城県亘理郡山元町坂元一ツ橋 1
日高社台ファーム	〒059-2121	北海道沙流郡日高町門別本町 16
社台ブルーグラスファーム	〒059-2127	北海道沙流郡日高町旭町 23



JRA-VAN 調教♥機能

いつでも推し馬の情報を



POINT 1

データ量！

全坂路・ウッドコースの
調教タイムを毎日更新

POINT 2

提供速度！

毎日お昼ごろに
調教タイムを提供

POINT 3

調教映像も！

一部の馬の調教映像も
最速レベルの更新

JRAシステムサービス株式会社

詳しくはこちら ▶



★ BTC 調教場利用 重賞競走 優勝馬一覧（2025 年 6 月～ 8 月分） 関係者の皆様、おめでとうございます。

（中央競馬）

- ・メイショウタバル 牝 4 歳 宝塚記念 G I（2025/06/15・阪神）
- ・ビューロマジック 牝 4 歳 7 化”スサマダ”ツシ G III（2025/08/03・新潟）

（地方競馬）

- ・メモリアカフェ 牝 3 歳 関東オークス Jpn II（2025/06/18・川崎）
- ・カズタンジャー 牝 4 歳 マーキュリー C Jpn III（2025/07/21・盛岡）
- ・ヤマニンチェルキ 牝 3 歳 北海道スプリント C Jpn III（2025/08/14・門別）
- ・ライオットガール 牝 5 歳 プリーダーズゴールド C Jpn III（2025/08/28・門別）

あ・と・が・き

★ 今夏は全国的に酷暑となり、道内でも本州を上回る暑さの日がありました。調教場では昨年に引き続き、運動後の馬体冷却用に一部の滞在厩舎用洗い場を開放し、WBGT（暑さ指数）予測値を周知するとともに場内 WBGT 値を見やすく掲示するなどの暑熱対策を行いました。また、BTC 調教場内では、本年 5 月より屋内 1000 m トラック馬場等の新設工事が始まり、竣工は 2027 年 1 月を予定しています。完成後は、より充実した調教環境に加え、冬季間の混雑緩和や安全性の向上が期待されます。工事期間中はご不便をお掛けいたしますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。（K. H.）

★ 本年春、新たに 7 名の職員が BTC に入社しました。新入職員の皆さんに、自己紹介を兼ねて配属先、出身地（道内の場合は市町）、趣味、好きな馬（理由）を聞きました。

- ・浅田さん：経理課 経理係、神奈川県、掃除、ミックファイア（無敗の南関東 3 歳クラシック三冠をこの目で見たから）
- ・岩崎さん：業務課 企画調整係、砂川市、野球、メイショウタバル（入社後初めて BTC 利用馬で G I・宝塚記念を優勝した馬だから）
- ・植田さん：診療課 診療係、大阪府、乗馬・手芸、サトノダイヤモンド（顔と体つきがタイプだから）
- ・川口さん：業務課 馬場管理係、帯広市、キャンプ・スノーボード、メイショウタバル（走り方やお尻周りが魅力的。今後も活躍してほしい）
- ・佐藤さん：教育課 教育係（あかしあ寮監）、苫小牧市、キャンプ・ツーリング、ディーブインパクト（圧倒的な強さを持っていたから）
- ・谷口さん：総務課 施設設備係、様似町、野球、シンザン（浦河産駒で 5 冠を達成しておりカッコいいから）
- ・福田さん：業務課 運用係、浦河町、球技・釣り、ジャミール（祖父母の牧場で生産され、G I の天皇賞や有馬記念に出場し感動したから）

それぞれの配属先で業務に励んでおります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

（K. M.）

BTC ニュース 2025 年（4） 第 141 号

※ BTC ニュースに関するお問い合わせ、配送先変更・配送中止のご連絡は、下記にて受け付けております。また、BTC ニュースは BTC ホームページからもご覧いただけます。

発行日：令和 7 年 10 月 1 日

発行：公益財団法人 軽種馬育成調教センター TEL 0146 (28) 1001 (代)

FAX 0146 (28) 1003 e-mail：koyoiku_fukyu@b-t-c.or.jp

〒057-0171 北海道浦河郡浦河町字西舎 528

編集責任者：山下 芳則 編集：小林 光紀 制作・印刷：西谷印刷株式会社 〒135-0022 東京都江東区三好 2-1-4



HP



BTC ニュース

フランス製 PVC 馬場柵

人と馬にやさしい馬場柵をお届けします



安全性、経済性を追求した紫外線にも強い PVC 素材の馬場柵です

TÉKIDÉ

欧州と中東を中心に世界各地で半世紀の販売実績を持つフランスのPVC(ポリ塩化ビニル)馬場柵メーカー「エコファブ社(旧 Fornells 社)」の製品をご紹介します。

エコファブ社の馬場柵(TÉKIDÉ)は、凱旋門賞が行われるロンシャン競馬場でも採用されています。



JRAファシリティーズ株式会社

〒104-0032 東京都中央区八丁堀3丁目19番9号 ジオ八丁堀
TEL 03(6631)9007 FAX 03(6631)9017

<http://www.jra-f.co.jp/>

詳細は
Webで

J R A F

検索



馬術に関するトピックス満載

日本馬術連盟では、毎月1回 機関誌『馬術情報』を発行しています。
国内の主要競技会、日本選手の国内外での活躍、海外の情報、その他馬にかかわるトピックス満載です！



月刊
馬術情報
Japan Equestrian Federation Journal



公益社団法人
日本馬術連盟

〒104-0033 東京都中央区新川 2-6-16
TEL 03-3297-5611 FAX 03-3297-5617
<https://www.equitation-japan.com>

購入・購読のお申し込み方法

毎月1日発行 A4サイズ/約48ページ

定 価 **550 円** (送料・消費税込)

年間購読 **12 冊 5,500 円** (送料・消費税込)

■お申し込み方法

ハガキ・FAX・ウェブサイトから、下記事項を明記のうえお申し込みください。

代金の入金確認後に発送いたします。

- ① お名前(ふりがな)
- ② 郵便番号
- ③ 住所
- ④ 電話番号
- ⑤ 下記のいずれかを明記してください
・1冊のみ購入希望の場合は希望月
・年間購読希望の場合は購読開始月

■お支払い方法

下記のいずれかの方法でお支払いいただけます。

- ◎銀行振込 : 三菱UFJ銀行 本店
(普) 1447629
コウエキシャダンホウジン ニホンバ(ジュウレンメイ)
公益社団法人 日本馬術連盟
- ◎郵便振替 : 00150-2-31103
コウエキシャダンホウジン ニホンバ(ジュウレンメイ)
公益社団法人 日本馬術連盟
- ◎現金書留 : 〒104-0033
東京都中央区新川 2-6-16
馬事畜産会館 6F
公益社団法人 日本馬術連盟
総務部『馬術情報』係

※個人情報「馬術情報」発送の目的以外には使用いたしません。

アスカル

競走馬専用
900g(30g×30袋)

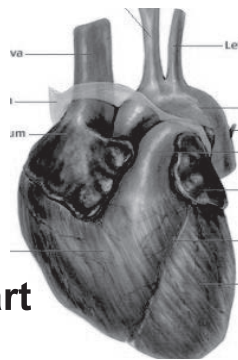
Astaxanthin & L-Carnitine

天然型アスタキサンチン
(ヘマトコッカス藻由来)

L-カルニチン



Muscle



Heart

- 品名:アスカル
- 規格:30g/アルミ袋
- 包装:900g(30g×30包)/化粧箱
- 給与方法:馬1頭1日あたり本品60g(30g袋×2回/朝夕)を慣用飼料に混合して給与する。
- 原材料名:米ぬか油かす、ヘマトコッカス藻抽出物(アスタキサンチン含有)、L-カルニチン。

※競走馬のスクミなど筋肉の障害、疾病の治療、改善を目的としてアスタキサンチンを含む飼料及びアスタキサンチンを馬へ与える特許は富士化学工業㈱が所有しております(特許第 3660244号)



アスタリール®は富士化学工業㈱の商標です。

技術提携先



富士化学工業株式会社
FUJI CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD.



カルニキング®はスイスロンザ社の商標です。

Lonza

お客さま
窓口

株式会社岩崎清七商店 競走馬事業部 TEL 03-3201-1666 FAX 03-3201-0028
〒100-6309 東京都千代田区丸の内2-4-1丸ビル9階912区 <http://www.s-iwasaki.jp>
[北海道] 株式会社北海道ホースフィード TEL 0146-32-3106
JRAファシリティーズ株式会社 飼糧課 美浦TEL 029-885-2161 栗東TEL 077-558-0319